

よんでみよう (28)

# 時間のふしぎ ふしぎな時間

～むかし・いま・みらい～

中・高学年対象

## モモ

ミヒヤエル・エンデ／作 大島かおり／訳 岩波書店

円形劇場あとに住みついたふしぎな少女、モモ。モモにじっくり話を聞いてもらう時間は、町の人びとにとってかけがえのないものとなる。ところがある時、そうした人びとのゆったりとした幸せな時間が、灰色の男たちにぬすまれはじめる。

ふしぎなカメの案内で「どこにもない家」へ行き、時間のひみつを知ったモモは、灰色の男たちから大切な友だちの大切な時間を取り戻せるか。



## 時計づくりのジョニー

エドワード・アーディゾーニ／作 あべきみこ／訳 こぐま社

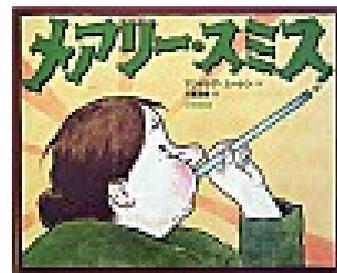
ジョニーはものづくりが大好き。ある日、大時計作りに挑戦しようと思いつく。「まだ小さいのに、大時計なんて作れるわけがない」先生にまでばかにされても、ジョニーはけっしてあきらめなかった。



## メアリー・スミス

アンドレア・ユーレン／作 千葉茂樹／訳 光村教育図書

まだ夜もあけない暗い道を、メアリー・スミスはずんずん歩く。手にはゴムチューブとかたい豆。ねらいを定めて飛ばした豆は、パン屋さんの家の窓に見事命中。時間に関係するメアリー・スミスの仕事とは？

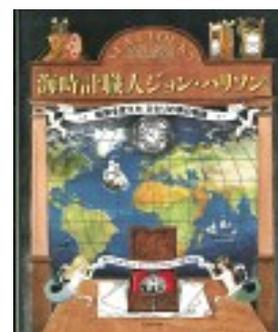


## 海時計職人ジョン・ハリソン

ルイーズ・ボーデン／文 エリック・ブレグバッド／絵

片岡しのぶ／訳 あすなろ書房

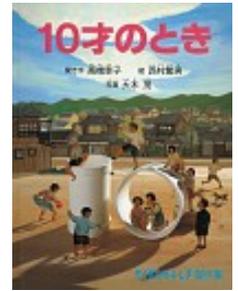
18世紀、海時計の発明によって、海の上でも正確な現在地がわかるようになる。自分のアイデアを信じ、一生をかけて航海用の時計を作り出した男の物語。



## 10才のとき

高橋幸子／聞き手 西村繁男／絵 大木茂／写真 福音館書店

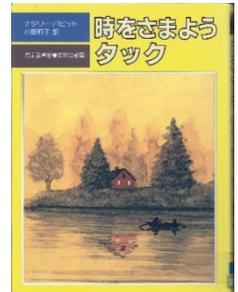
明治、大正、昭和生まれの7人が、自分が10才の時のことを語る。みんな10才だけど、同じ10才ではない。10才の自分と比べてみるのもいい。ふしぎなタイムマシーン「10才のとき」号に乗って、出発！



## 時をさまようタック

ナタリー・バビット／作 小野和子／訳 評論社

ふしぎな泉の水を飲んだために、不老不死になってしまったタック一家。そのひみつを知った10才のウィニーは、彼らとともに永遠のときを生きる道を選ぶのか。



## タイムマシン

H. G. ウェルズ／著 雨沢泰／訳 偕成社

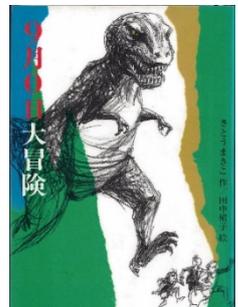
19世紀末。自分で作り上げたタイムマシンでタイムトラベラーがたどりついたのは、80万年後の世界。人類に待っていたのは、バラ色の未来？それとも…。



## 9月0日大冒険

さとうまきこ／作 田中楨子／絵 偕成社

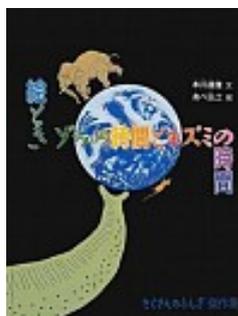
日焼けすることもできず、つまらなかった夏休みの最後の日の真夜中、純はふしぎな日めくりカレンダーに導かれ9月0日の世界へ。そして、同じようにこの世界にまよいこんでいた、同級生のリコと明に出会う。3人はけんかしつつも、元の世界にもどるため協力し、きずなを深めていく。



## 絵ときゾウの時間とネズミの時間

本川達雄／文 あべ弘士／絵 福音館書店

人間の心臓は1分間に約60回脈打つ。大きなゾウは30回。小さなハツカネズミはなんと600回。でも、一生の間に心臓を打つ回数は、どの動物も大体同じ。みんな、それぞれの時間をそれぞれに生きている。



## 時間の大研究

池内了／監修 PHP研究所

1日は24時間、1時間は60分。そんなのあたりまえ？

えっ！時間はのびたりちぢんだりするの？大昔、1日は21時間くらいしかなかったってホント？「時間」をさまざまな角度からわかりやすく解説。

